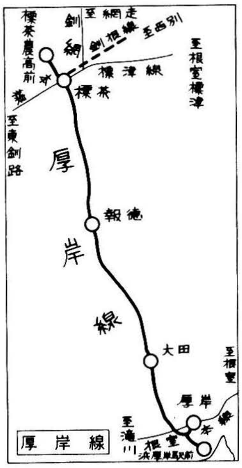
釧根原野，標茶地帯の開拓促進をはかると共に根室本線と釧網本線との短絡を使命として開設された路線である。

冬期積雪のため太田・上知安別間は例年1月から4月下旬まで運転を休止する。またこの路線は標茶駅で釧根線と連絡している。（福田幸市）



あてらざわせん　左沢線　奥羽本線山形駅から左沢駅に至る26.2kmの線。奥羽線に属し線路等級は丙線である。大正10・7山形・羽前長崎間開通，左沢線と呼称，大正10・12羽前長崎・寒河江間，大正11・4寒河江・左沢間が開通したものである。（森　悌寿）

あとづけしゃりょう　後付車両　列車は最前部に動力車，最後部に緩急車を連結して貫通制動機を使用するのを原則とし，特別にその後部に連結する車両で貫通制動機の作用しないものを後付車両といっている。それは列車の中部に連結することのできないき損車両，雪かき車および簡易連結器を装置した気動車で各1両にかぎり，貨物列車の最後部の緩急車または最後部の機関車の後に連結してもよいことになっている。また小形自動連結器を装置した気動車は，4両以内で（簡易連結器を装置した気動車は1両）鉄道管理局長が指定した場合は旅客列車に後付してもよい。

つぎに混合列車または貨物列車には，鉄道管理局長が指定して所定の制動軸数を備えて制動機取扱者を乗り込ませれば，貫通制動機の作用しない客車または貨車を10軸まで後付連結することができることになっている。

以上がせまい意味の後付車両であるが，広い意味では停車場の配線または作業のつごう等により，旅客列車の後部に連結する増結客車あるいは貨物列車の後部に補充する貨車，混合列車で客車を前部，貨車を後部に編成した場合の貨車等も後付車両という場合がある。（山岸勘六）

アトランチック・コースト・ラインてつどう　アトランチック・コースト・ライン鉄道　（米）Atlantic Coast Line Railroad Company　1級鉄道，営業キロ8,808km。本社所在地　Wilmington, North Carolina, U. S. A.　この鉄道の前身であるピータースバーグ鉄道は1830年に鉄道建設の免許を受け，工事は1833年に完成された。この鉄道が水路輸送と競争して成功を収めたことが刺激となり，ヴァージニア州およびその周辺の諸州に数年のうちに多くの鉄道が建設された。これらの鉄道はその後南北戦争によって大損害を受けたが，戦後の再建が進むとともにようやくアトランチック・コースト・ライン鉄道系が形成され始めた。1887年には南部諸州とニューヨークの間の鉄道のみによる連絡が可能になった。

1900年には数鉄道を合併してアトランチック・コースト・ライン鉄道会社が設立され，未開発地域の線路の建設が進められた。

1946年にアトランタ・バーミンガム・コースト鉄道会社の全株式を買収した。ルイヴィル・ナッシュヴィル鉄道会社およびその他の数会社を従属会社とし，ルイヴィル・ナッシュヴィル鉄道会社とともにジョージア鉄道およびカロライナ・クリンチフィールド・オハイオ鉄道の共同賃借を行っている。アトランチック・コースト・ライン鉄道系はこれらの従属鉄道をもって構成され，従属会社の営業キロは20,500km以上に達している。

主要線路はヴァージニア州のリッチモンドから大西洋岸にそって南下し，チャールストン，サヴァンナを経てジャクソンヴィルに通じ，路線網はフロリダ州の大部分に広がっている。

1951暦年度の営業成績は，

営業収入	159,255,085ドル
営業費	128,237,017　〃
営業係数	80.52%
貨物輸送トン数	45,367,357t
1トン平均輸送キロ	324.79km
旅客輸送人員	2,415,868人
1人平均乗車キロ	543.40km

貨物輸送トン数のうち，47.6%は鉱産物，26.0%は工業製品および雑品目，17.9%は林産物である。

1951年末現在線路キロ数および車両数，船舶数は，

線　路	
総営業キロ	8,808km
自社所有路線営業キロ	8,491
総軌道延長	12,696
自社所有総軌道延長	12,307
車　両	
蒸気機関車	289両
ディーゼル電気機関車	545
貨　車	29,744
客　車	613
事業用車両	1,893
船　舶	10隻

参考文献　Henry Sampson編 World Railways 1954～55。Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials & Year Book 1953～54。Interstate Commerce Commission 編 Statistics of Railways in the United States, 1951。（光延有三）

あにあいせん　阿仁合線　奥羽本線鷹ノ巣駅から阿仁合駅に至る33.1kmの線。奥羽線に属し線路等級は簡易線である。

鷹ノ巣から阿仁合・桧木内を経て生保内線角館を結ぶ鉄道の一部として，昭和9・12鷹ノ巣・米内沢間開通，阿仁合線と呼称，つづいて米内沢，阿仁前田間と建設が進められ，昭和11・9阿仁合まで開通したものである。（森　悌寿）

あばしりせん　網走線　網走本線および相生線の総称。（森　悌寿）

あばしりほんせん　網走本線　根室本線池田駅から利別川にそって北進，名所「置戸の大森林」を経てさらに東進，オホーツク海に臨んだ網走駅に至る193.0kmの線と網走・浜網走間0.8kmの貨物枝線を含む総営業キロ193.8kmの線。網走線に属し線路等級は丙線である。

明治43・9官設鉄道として池田・陸別間，明治44・9陸別・北見間，大正1・10網走（現浜網走）まで開通した。のち昭和7・12呼人・網走間に現網走駅が設置されたので旧網走駅は駅名を浜網走と改め貨物駅となり，網走・浜網走間は貨物枝線となった。池田・北見間は石北線の開通により単なる地方交通の線となった。（森　悌寿）

アプトしききかんしゃ　アプト式機関車　（英）Abt locomotive　2本のレールの中央に敷設されたラックレールに機関車の駆動用歯車（ラック歯車と呼ぶ）をかみ合わせて前進する勾配線用機関車をいう。もっぱら急勾配線用に使われ，歯車のみで前進するものと，歯車の回転力と車輪の粘着力とを併用す